

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切<br>ではありません) | 申請形態              | 助成名   | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)  | 対象事業   | 応募資格   | 助成額  | 研究期間   |
|-------|-----------------------------|-------------------|---|---|--|--|--|--|
| 7月8日  | 2020年9月30日<br>必着 締切         | Eメール<br>または<br>郵送 | 公益財団法人薬力学<br>研究会<br>2020年度研究助成<br>事業  | 公益財団法人 薬力学研究会<br>〒113-8519<br>東京都文京区湯島1丁目5番45<br>号<br>東京医科歯科大学内<br>公益財団法人 薬力学研究会 事<br>務局<br>TEL:03-5803-5987<br>FAX:03-5803-5981<br>Email: yakuriki.tcd@tmd.ac.jp<br>http://yakuriki.umin.jp/   | この研究助成金の主な原資は、東京医科<br>歯科大学名誉教授 大島博幸氏からの若<br>手研究者への研究奨励助成を目的とし<br>た寄附金により運営されており、この目的<br>達成に貢献すると判断される研究に対し、研究<br>助成金を贈呈する。   | ・日本国内の大学・研究機関等に在籍<br>する研究者。<br>・2020年4月1日現在40歳以下の研<br>究者、ただし、産前・産後休業又は育児<br>休業を取った者は、40歳以下の制限<br>に、その日数を加算することができる。  | 100万円/件  | 原則1年   |
| 7月8日  | 2020年9月30日<br>締切            | Web申請             | 公益財団法人 中富<br>健康科学振興財団<br>①研究助成金<br>②留学助成金<br>③国際交流助成金   | 公益財団法人 中富健康科学振興<br>財団<br>〒100-6330<br>東京都千代田区丸の内二丁目4番<br>1号<br>久光製薬株式会社内<br>公益財団法人中富健康科学振興<br>財団 事務局<br>TEL:03-5293-1705<br>FAX:03-5293-1725<br>Email:tnfmaster@hisamitsu.co.jp<br>http://www.nakatomi.or.jp                          | (1)健康の維持・増進に関する医学的・薬<br>学的研究<br>課題番号1:筋骨格系及び結合織の機能<br>保持に関する研究<br>課題番号2:皮膚の健康と老化防止に関<br>する基礎的研究<br>課題番号3:機能低下、個人差等による薬<br>物等の体内動態に関する研究<br>課題番号4:疼痛治療に関する研究<br>(2)運動を主体とする健康増進に関する科<br>学的研究<br>課題番号5:運動を中心とした健康増進に<br>関する研究<br>、   | ①左記の研究対象の領域に属する研<br>究を行い、所属する施設の学部長ある<br>いは施設長(病院長、学長など)の推薦<br>を受けた者。<br>また、応募開始時点で45歳未満の者。<br>②左記と同じ研究を行い、所属する施<br>設の学部長あるいは施設長の推薦を受<br>け、令和3年4月1日より令和4年3月31<br>日の間に開始し、期間1年以上の国内<br>及び海外留学を行う者。<br>また、応募開始時点で35歳未満の者。<br>③左記と同じ研究を行い、国際的に高<br>い評価を得ている外国の研究者の招聘<br>並びに、我が国の学者・研究者の海外<br>派遣による研究交流・もしくは研究指<br>導、研究発表等に対して助成を行う。 | ①150万/1件を<br>基準とする。<br>②50万/1件<br>③招聘100万/1件<br>派遣助成100万/<br>件 | ①特に明記なし<br>②国内外留学<br>1年以上<br>③2021年4月1<br>日以降2022年3<br>月<br>31日の間に開始<br>するもの |
| 7月8日  | 2020年9月30日<br>締切            | Web申請             | 公益財団法人 中富<br>健康科学振興財団<br>講演会等開催助成金  | 公益財団法人 中富健康科学振興<br>財団<br>〒100-6330<br>東京都千代田区丸の内二丁目4番<br>1号<br>久光製薬株式会社内<br>公益財団法人中富健康科学振興<br>財団 事務局<br>TEL:03-5293-1705<br>FAX:03-5293-1725<br>Email:tnfmaster@hisamitsu.co.jp<br>http://www.nakatomi.or.jp                          | (1)健康の維持・増進に関する医学的・薬<br>学的研究<br>課題番号1:筋骨格系及び結合織の機能<br>保持に関する研究<br>課題番号2:皮膚の健康と老化防止に関<br>する基礎的研究<br>課題番号3:機能低下、個人差等による薬<br>物等の体内動態に関する研究<br>課題番号4:疼痛治療に関する研究<br>(2)運動を主体とする健康増進に関する科<br>学的研究<br>課題番号5:運動を中心とした健康増進に<br>関する研究<br>、   | 講演会、学会、シンポジウム等の開催<br>責任者または会計責任者。<br>年齢は問わない。  | 100万円/件  | -  |
| 7月8日  | 2020年8月31日<br>必着 締切         | 郵送                | 大学共同利用機関法<br>人 人間文化研究機<br>構 国際日本文化研<br>究センター<br>令和3(2021)年度<br>国際日本文化研究セ<br>ンター共同研究<br>①共同研究(一般)<br>②共同研究(所蔵資<br>料活用) | 大学共同利用機関法人 人間文<br>化研究機構 国際日本文化研究<br>センター<br>〒610-1192<br>京都市西京区御陵大枝山町3丁<br>目2番地<br>Tel:075-335-2044<br>Fax:075-335-2092<br>Email:kyoudou@nichibun.ac.jp<br>http://research.nichibun.ac.jp/pc1<br>/ja/employment/team.html#kyoud<br>ou | ①日本文化に関する国際的・学際的な総<br>合研究<br>(1)重点共同研究 機関拠点型基幹研究プ<br>ロジェクト「大衆文化の通時的・国際的研<br>究による新しい日本像の創出」を担う共同<br>研究<br>(2)国際共同研究 研究対象地域を日本に<br>限定せず、広い観点からの比較や文化の<br>相互交流や歴史的変容をも対象とする、国<br>際的研究指向の強い共同研究<br>(3)基幹共同研究 国際性・学際性という創<br>立以来の強みを活かしつつ、人文学のフ<br>ロントを開拓するような共同研究<br>②本センターの所蔵資料(文献資料・映像<br>音響資料・データベース等)を活用する研<br>究<br>※詳細はHPを参照してください。 | 令和3(2021)年4月1日現在、満65歳以<br>下で、国内の大学その他の研究機関の<br>研究者、又はこれと同等以上の研究能<br>力があると本センターの所長が認めた<br>者。  | 年間経費100~<br>120万   | 2021年4月1日<br>~2022年3月31<br>日   |
| 7月8日  | 2020年9月30日<br>必着 締切         | Eメール<br>または<br>郵送 | 一般財団法人ホー<br>ユース科学財団<br>2021年度助成事業   | 一般財団法人ホーユース科学財団<br>〒480-1136 愛知県長久手市櫛木<br>1-12 一般財団法人 ホーユース科<br>学財団 事務局<br>電話:0561-62-0539<br>FAX:0561-62-6294<br>E-mail:hoyu_sf@hoyu.co.jp<br>https://www.hoyu.co.jp/zaidan/   | 1)化粧品・医薬部外品関連<br>[毛髪科学に関する研究]<br>[皮膚科学に関する研究]<br>[染色化学に関する研究]<br>2)医薬品関連<br>アレルギー発生機序に関する基礎研究<br>アレルギー学や免疫学に関する基礎研究<br>痛み/痒みに関する研究<br>感受性のメカニズム解明および低減化技<br>術<br>免疫に関する研究<br>アレルギーの診断・治療に関する研究...<br>等<br>(一部抜粋)<br>※詳細はHPの要項を確認のこと。   | 対象研究に従事する国内の国公私立<br>大学(含付属研究機関)または国公立研<br>究機関に所属する研究者。<br>応募は個人研究を対象とする。<br>共同研究者がいても問題なし。<br>また、原則1人1件となっているが、研<br>究課題が異なる場合、複数申請を認め<br>る。  | 50万or100万/件<br>(選択制)   | 2021年4月1日<br>~2022年3月31<br>日   |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切<br>ではありません)      | 申請形態             | 助成名  | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)  | 対象事業   | 応募資格  | 助成額                                    | 研究期間                   |
|-------|----------------------------------|------------------|--|---|--|---|--|------------------------|
| 7月8日  | 2020年7月31日<br>締切(当日消印有効)         | 郵送               | 公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団<br>令和2年度調査研究助成   | 公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団<br>〒461-8701<br>名古屋市中区東片端町8番地 スズケン本社ビル内<br>公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団事務局<br>TEL: 052-951-2139<br>FAX: 052-951-2166<br><a href="https://www.suzukenzaidan.or.jp/bosyu/index.html">https://www.suzukenzaidan.or.jp/bosyu/index.html</a>  | 疾病の予防、診断、治療における医学、薬学、医工学及び関連諸科学の医療への応用に関する調査研究に対して助成金を交付する。<br>課題1 :より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究<br>(1) 日常生活活動・機能の非侵襲的な測定装置の開発<br>(2) QOLの向上を目指した医療技術の開発<br>課題2 :生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究<br>(1) 病態の解明と病態モデルの開発<br>(2) 生理活性物質と創薬に関する研究   | 国、公、私立の大学、研究所、病院などの研究機関において左記の趣旨に添う調査研究に従事している方。<br>ただし助成課題については、<br>(1) 選考委員及び本財団から過去5年以内に助成を受けた方は、対象から除く。<br>(2) 助成を受けた方と同教室で類似テーマでの申請は不可。<br>(3) 応募は、1教室(1研究室)から1課題とする。<br>(4) 課題2は、満45歳以下[昭和49年(1974年)8月1日以降生れ]の研究者を対象とする。<br>(5) 企業との共同研究は対象から除く。  | (1) 課題1: 500万以下/件<br>(2) 課題2: 300万以下/件 | 1年間                    |
| 7月8日  | 2020年8月5日<br>12時(厳守)締切           | Web申請<br>(e-Rad) | 農林水産省<br>農林水産政策研究所<br>令和2年度<br>連携研究スキームによる研究(委託研究課題)   | 農林水産省<br>農林水産政策研究所<br>〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館<br>農林水産省農林水産政策研究所(連携研究運営事務局)<br>メール: <a href="mailto:renkei.jimu@maff.go.jp">renkei.jimu@maff.go.jp</a><br>TEL: 03-6737-9056<br>FAX: 03-6737-9098<br><a href="https://www.maff.go.jp/primaff/kadai_hyoka/renkei/2020/bosyu.html">https://www.maff.go.jp/primaff/kadai_hyoka/renkei/2020/bosyu.html</a> | 【研究テーマ1】ポスト新型コロナウイルス時代における食料安全保障のあり方に関する研究のうち「食料の安定的な供給体制の構築に関する研究」<br>【研究テーマ2】ポスト新型コロナウイルス時代における食料安全保障のあり方に関する研究のうち「食料の安定的な確保のための国際市場に関する研究」<br>【研究テーマ3】ポスト新型コロナウイルス時代における食料安全保障のあり方に関する研究のうち「国産農水産物の国内外の需要動向を踏まえた供給体制に関する研究」<br>【研究テーマ4】超高齢社会における社会・健康問題の解決に資する学際的研究<br>【研究テーマ5】ナッジ等を活用した気候変動への対応等環境政策の推進に関する研究<br>【研究テーマ6】農福連携の地域経済・社会、障害者の心体への効果に関する研究 | ① 応募できる者は、大学及び大学共同利用機関法人、独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、特殊法人及び認可法人、民間企業、公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人及び一般財団法人、特定非営利活動促進法の認証を受けた特定非営利活動法人(NPO法人)、地方公共団体等の法人格を有する研究機関、又はこれらの2以上の研究機関等から構成されるグループ(以下「共同研究グループ」という。)とする。<br>② 共同研究グループの場合は、国からの委託契約における受託者としての一切の契約責任を有し研究推進の中核となる機関(以下「中核機関」という。)を定め、中核機関が応募する。また、中核機関は、研究の効率的な推進を図る観点から、中核機関以外の研究機関(以下「共同機関」という。)との役割分担を明確にするとともに、参画機関が過度に多くならないように配慮のこと。 | 1課題・単年度あたり1,000万円程度                    | 2年ないし3年(予定)            |
| 7月8日  | 2020年7月31日<br>17時必着 締切           | 郵送               | 公益財団法人ユニバーサル財団<br>2020年度研究助成   | 公益財団法人ユニバーサル財団<br>〒160-0004<br>東京都新宿区四谷 2-14-8 YPCビル 5 階<br>TEL: 03-3350-9002<br>FAX: 03-3350-9008<br>e-mail: <a href="mailto:info@univers.or.jp">info@univers.or.jp</a><br><a href="https://www.univers.or.jp/index.php?researchgrant">https://www.univers.or.jp/index.php?researchgrant</a>   | 募集課題<br>1. 心と健康<br>子どもから高齢者まで、誰もが心身ともに健康に過ごすための、心理社会的アプローチを用いた研究<br>2. 社会的包摂に関わるソーシャルワーク実践<br>社会的包摂に関わって援助のあり方を模索する実践的研究や、まだ支援制度が整っていない分野、社会問題への解決に向けた研究<br>3. これからの福祉の環境づくり<br>これからの社会に必要とされる福祉の制度や仕組み、また支援サービスの事業化についてなど、新たな福祉のあり方に関する研究   | 以下の両方の要件を満たす方が対象。<br>① 大学、研究機関、教育機関等における研究教育活動、または社会福祉の実践に従事している方。<br>② 大学院修士課程または博士前期課程に在籍される方、ならびに修了された方、またはそれと同等以上の資格もしくは能力を有する方。<br>(但し、大学院修士課程及び博士前期課程に在籍の方の申請は、指導協力教員を必要とします。申請書の共同研究者の記載欄に記入。博士後期課程の方の申請は、この限りではない。)   | 原則上限100万/件                             | 1年間(2020年11月~2021年10月) |
| 7月8日  | 2020年7月15日<br>~ 8月18日(火)<br>正午締切 | Web申請            | 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所<br>文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム<br>「先進ゲノム支援」支援課題公募 | 【公募・支援内容についての問い合わせ先】<br>〒411-8540<br>静岡県三島市谷田1111<br>国立遺伝学研究所 先端ゲノム推進センター内<br>新学術領域研究「ゲノム推進」事務局<br>TEL: 055-981-6856<br>FAX: 055-981-6855<br>E-mail: <a href="mailto:genome-sec@nig.ac.jp">genome-sec@nig.ac.jp</a><br><a href="https://www.genome-sci.jp/guidance#idguidance">https://www.genome-sci.jp/guidance#idguidance</a>                                  | 2020年度に文部科学省・科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)の助成を受けている研究課題(2020年度新規・継続課題)に基づく申請を対象とする。<br>※詳細はHP掲載の要綱参照   | 左記に該当する者。   | 記載なし                                   | 記載なし                   |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切ではありません)       | 申請形態  | 助成名  | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業  | 応募資格   | 助成額  | 研究期間                           |
|-------|-------------------------------|-------|--|--|---|--|--|--------------------------------|
| 7月8日  | 2020年8月25日<br>必着 締切           | 郵送    | 公益財団法人 朝日新聞文化財団<br>「朝日賞」候補者推薦              | 朝日新聞社CSR推進部「朝日賞」事務局<br>〒104-8011<br>東京都中央区築地5-3-2<br>TEL: 03-5540-7453<br>FAX: 03-3541-8999<br><a href="https://www.asahi.com/corporate/award/asahi/12737954">https://www.asahi.com/corporate/award/asahi/12737954</a>   | 人文や自然科学など、我が国の様々な分野において傑出した業績を上げ、文化や社会の発展、工場に多大な貢献をされた個人または団体   | 左記に該当する者。<br>原則1名、最大2名まで。<br>年齢、国籍問わない。  | -  | -                              |
| 7月8日  | 2020年8月23日                    |       | 株式会社みらいワークス<br>未来2021ビジネスプラン募集             | 株式会社みらいワークス<br>〒105-0021<br>東京都港区東新橋2-8-1<br>パッツォアステック7階<br>E-mail: mirai2021@mirai-works.co.jp<br><a href="https://mirai.ventures/">https://mirai.ventures/</a>   | すべての産業・技術分野から応募を受け付け。<br>・IoT/AI/テクノロジー<br>・IT融合/X-Tech<br>・街/生活<br>・メディカル/ヘルスケア/バイオ<br>・クールジャパン/クリエイティブ<br>・その他  | ・シード・アーリー～ミドルステージにあるスタートアップ企業<br>・資金調達ニーズにある企業(Pre-Funding, Seed Round A Round等を中心に)<br>・企業における研究や新規事業のスピニングアウトを考えている方、既にスピニングアウトした方・企業<br>・大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方   | 金額提示なし<br>1次通過者、2次通過者にそれぞれ特典あり                 | 記載なし                           |
| 7月8日  | 2020年9月1日～<br>10月20日 必着<br>締切 | 郵送    | 公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団<br>2020年度学術研究助成      | (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団<br>〒272-0034 千葉県市川市市川1丁目9番2号サンプラザ35ビル6F<br>TEL: 047-323-5580<br>FAX: 047-323-6400<br>E-mail: info@iiiima-kinenzaidan.or.jp 担当 細谷(ほそや)<br><a href="http://www.iiiima-kinenzaidan.or.jp/">http://www.iiiima-kinenzaidan.or.jp/</a>             | 米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に係る食品科学等の研究領域で以下に具体的な研究分野を例示。<br>・生産・加工<br>・成分分析<br>・食品の機能・栄養<br>・安全・衛生、保存・貯蔵<br>・物性、品質、調理<br>・食品素材として利用される乳、卵、豆など及びそれらの成分の研究<br>・食品素材として利用される澱粉・多糖類、油脂の研究<br>・食品製造に利用される発酵・微生物の研究<br>・食品科学との学際的研究など                                       | ・日本国内の大学、短期大学、高等専門学校及び公的研究機関において食品に関する研究を行う研究者及び研究グループ。<br>大学院及び学部の学生、研究生並びに企業所属の研究者は募集対象外。<br>・他の民間との重複助成は不可。   | ①個人助成額<br>100～250万/件<br>②共同研究助成<br>200～500万/件  | 原則として1カ年<br>(2021年4月から2022年3月) |
| 7月8日  | 2020年10月31日<br>締切             | Web申請 | 公益財団法人 博報堂教育財団<br>第16回児童教育実践についての研究助成      | 公益財団法人 博報堂教育財団<br>〒100-0011<br>東京都千代田区内幸町2丁目2-3<br>日比谷国際ビル14階<br>TEL: 03-6206-6266<br>FAX: 03-6206-6582<br><a href="https://www.hakuhodofoundation.or.jp">https://www.hakuhodofoundation.or.jp</a>   | 【対象となる研究】<br>子どもたちのあらゆる成長の礎となる「ことばの力」を育む研究や、児童教育実践の質を向上させる研究を助成します。<br>※児童教育の対象は小・中学生とします。<br>ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児、高校生に関する研究も可とします<br>◎ 「ことばの力」を育む研究<br>・国語・日本語教育の諸分野における研究<br>・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究<br>◎ 児童教育実践の質を向上させる研究<br>・多様な場における教育実践の質を向上させる研究 | ・日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方(例えば教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員等。)<br>・日本の大学・研究機関に所属する研究者(例えば准教授、講師、助教、博士課程の院生等。若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く。)  | ・200万/件、1カ年<br>・300万/件、2カ年                     | 2021年4月1日から1年間または2年間           |
| 7月8日  | 2020年9月30日<br>締切              | Web申請 | 公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団<br>第32回(2020年度)研究助成 | 公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団<br>〒194-8533<br>東京都町田市旭町3-6-6<br>TEL: 042-725-2576<br>FAX: 042-729-4009<br>E-mail: zaidan@katokinen.or.jp<br><a href="https://www.katokinen.or.jp/applications/31kenzyo.html">https://www.katokinen.or.jp/applications/31kenzyo.html</a> | (1)M分野「メディカルサイエンス分野」<br>(2)B分野「バイオテクノロジー分野」<br>(3)E分野「環境バイオ分野(奨励研究)」  | 国内の大学(高等専門学校含む)又は公的研究機関に所属し、以下の条件を満たす研究者とする。<br>・9月末日時点で、M分野及びB分野:40歳以下。E分野:35歳以下<br>・応募時までに妊娠・出産・育児休業を取得した者については一律2年間、介護休業を取得した者についてはその休業期間、性別を問わず年齢制限を延長する。<br>・博士号取得後10年以内であれば41歳以上の応募も可。(E分野は除く)年齢(9月末日)<br>・M分野及びB分野:40歳以下。E分野:35歳以下<br>・学生、大学院生は原則応募不可 | M分野及びB分野<br>200万円/件<br>E分野(奨励研究)<br>1件当たり100万円 | 2021年4月～<br>2023年3月(2年間)       |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切<br>ではありません)       | 申請形態  | 助成名  | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)  | 対象事業   | 応募資格   | 助成額   | 研究期間                       |
|-------|-----------------------------------|-------|--|---|--|--|---|----------------------------|
| 6月24日 | 2020年7月31日<br>締切                  | Web申請 | 公益財団法人上原記念生命科学財団<br>第11回特定研究助成金                              | 公益財団法人上原記念生命科学財団<br>〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号<br>E-mail: mail85@ueharazaidan.or.jp<br><a href="https://www.ueharazaidan.or.jp/grants/login/">https://www.ueharazaidan.or.jp/grants/login/</a>  | 課題『AI・ビッグデータ駆動型生命科学』<br>(1)データ科学を活用・駆使するデータ駆動型学際的生命科学研究<br>(2)世界ではじめての AI 活用で加速する生命科学の重要問題研究<br>(3)AI を駆使する生命科学の未踏課題への挑戦                     | 左記に掲げた研究に意欲的に従事する日本在住の研究者(単独研究でも共同研究でもよい。共同研究の場合は主たる研究者が応募すること。)   | (A)1件 1,500万円<br>(年額500万ずつ3年間の分割交付)<br>(B)〃 900万円<br>(年額300万ずつ3年間の分割交付) | 3年間                        |
| 6月24日 | 2020年9月3日締切                       | Web申請 | 公益財団法人上原記念生命科学財団<br>2020年度<br>①研究助成金<br>②研究推進特別奨励金<br>③研究奨励金 | 公益財団法人上原記念生命科学財団<br>〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号<br>E-mail: mail85@ueharazaidan.or.jp<br><a href="https://www.ueharazaidan.or.jp/grants/login/">https://www.ueharazaidan.or.jp/grants/login/</a>  | 生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する以下の諸分野の研究<br>(1)東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般<br>(2)基礎医学(上記以外)<br>(3)臨床医学(〃)<br>(4)生命科学と他分野との融合領域(生体情報学、生体医工学、生体材料学など) | ①年齢は問わない<br>②医学部または薬学部において独立した研究室を立ち上げた1975年4月1日以降出生の教授<br>※但し、医学部(大学院医学研究科)の臨床系の教授の場合は1971年4月1日以降出生の者<br>③1983年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1981年4月1日以降出生の者<br>推薦は、原則として1推薦者につき1件とする。但し、同一研究室から同じテーマで研究推進特別奨励金、研究奨励金の同一申請は認めない。 | ①500万/件<br>②400万/件<br>③200万/件   | いずれも助成金交付から2022年4月30日まで    |
| 6月24日 | 2020年9月30日<br>締切(当日消印有効)          | 郵送    | 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団<br>木原記念財団学術賞                            | 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団<br>〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6<br>担当:渡部<br>TEL:045-502-4810<br>FAX:045-502-9810<br>E-mail: watanabe@kihara.or.jp<br><a href="http://kihara.or.jp/award/gakuiyutusyou.html">http://kihara.or.jp/award/gakuiyutusyou.html</a>                         | 生命科学の分野で、優れた独創的研究を行なっている研究者を励まし、顕彰し、今後の研究発展の一助とする。   | 満50歳以下の研究者を対象とする。原則として毎年1件贈呈する。<br>生命科学に関する学会、大学、及び研究機関等の推薦による。  | 賞状、記念杯、賞金200万円の授与   | -                          |
| 6月24日 | 2020年8月7日～<br>8月21日締切<br>(当日消印有効) | 郵送    | 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)<br>令和3年度戦略的研究シーズ育成事業          | 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1KSP西棟6階<br>(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 溝の口支所<br>研究開発部 研究支援課 後藤・鶴見・大山 様<br><a href="https://www.kistec.jp/r_and_d/project/res/kast-st/invitation/r03st/">https://www.kistec.jp/r_and_d/project/res/kast-st/invitation/r03st/</a><br>※問い合わせはHP内専用フォームより | KISTEC が主要研究分野として掲げる「基礎科学・計測」、「ナノテクノロジー・材料化学」、「エレクトロニクス・情報技術」、「ライフサイエンス」のいずれか、またはこれらの分野を超えた複合領域に属するものであって、上記の事業目的に合致する研究課題を広く募集。             | 自ら研究構想の発案者であるとともに、その構想を実現するためのリーダーシップを持って研究を推進する意思のある、概ね 45 歳以下の方。   | 1,300 万円程度/年  | 原則2年間(令和3年4月1日から令和5年3月末まで) |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切ではありません)                | 申請形態                | 助成名   | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業  | 応募資格   | 助成額  | 研究期間  |
|-------|--|---------------------|---|--|---|--|--|---|
| 6月10日 | 2020年7月27日<br>24時締切                    | Web申請<br>(④のみ郵送も必要) | 公益財団法人 中谷<br>医工計測技術振興財団<br><br>2020年(令和2年)度<br>①技術開発研究助成<br>②特別研究助成<br>③奨励研究助成<br>④調査研究助成 | 公益財団法人中谷医工計測技術<br>振興財団<br>〒141-0032<br>東京都品川区大崎1丁目2番2号<br>アトヴィレッジ大崎セントラルタ<br>ワー8階<br>公益財団法人中谷医工計測技術<br>振興財団事務局<br>問い合わせはHPのお問い合わせ<br>より<br><a href="https://www.nakatani-foundation.jp/">https://www.nakatani-foundation.jp/</a> | 医工計測および関連技術<br>生体、その構成体(分子、細胞小器官、細胞、臓器など)および薬物動態を対象にした計測技術、情報解析技術などに関する研究であり、医療、健康管理、介護などに関して有用な情報を与えるもの。【バイオマーカーの開発、測定系の基礎研究や疾患の診断、病態解析の臨床応用も含む】<br><br>①③独創的な発想に基づく研究であって、実用化が期待できる技術であるか、または、それに寄与することが期待されるもの。<br><br>②医工計測技術分野において基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対するもの。<br><br>④複数の研究機関または幅広い専門分野や地域の研究者が参加して行う技術動向調査または技術の評価 | ①②④大学およびこれに準ずる研究機関に属する者<br><br>③大学およびこれに準ずる研究機関に属する者(若手研究者の育成を目的とした助成のため、研究責任者の年齢は、募集締切日に40歳未満であること。)  | ①最大500万/件<br>②2年間で最大3,000万<br>③年間最大200万<br>④2年間で最大300万 | ①2021年4月より1年間<br>②④2021年4月より最大2年間<br>③2021年4月より1年または2年間 |
| 6月10日 | 2020年9月24日まで<br>(電子データは当日必着、郵送は当日消印有効) | Web申請<br>及び<br>郵送   | 公益財団法人 中谷<br>医工計測技術振興財団<br><br>2020年(令和2年)度<br><br>⑤中谷賞候補者推薦募集                            | 公益財団法人中谷医工計測技術<br>振興財団<br>〒141-0032<br>東京都品川区大崎1丁目2番2号<br>アトヴィレッジ大崎セントラルタ<br>ワー8階<br>公益財団法人中谷医工計測技術<br>振興財団事務局<br>問い合わせはHPのお問い合わせ<br>より<br><a href="https://www.nakatani-foundation.jp/">https://www.nakatani-foundation.jp/</a> | 医工計測および関連技術<br><br>生体、その構成体(分子、細胞小器官、細胞、臓器など)および薬物動態を対象にした計測技術、情報解析技術などに関する研究であり、医療、健康管理、介護などに関して有用な情報を与えるもの。   | 【中谷賞大賞】<br>1) 医工計測技術について優れた業績を挙げ、現在でも活発な研究活動を行っている研究者であること。<br>2) 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。<br><br>【中谷賞奨励賞】<br>1) 医工計測技術について独創的な研究をしていること。<br>2) 将来有望な研究者で、原則として応募締切時45歳以下であること。<br>3) 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。 | 【大賞】<br>500万(1件)<br><br>【奨励賞】<br>250万(2件)              | -   |
| 6月10日 | 2020年7月31日<br>24時締切                    | Web申請               | 【リバネス研究費】<br><br>第49回リバネス研究費<br><br>ダスキン開発研究所賞  | リバネス研究費<br><br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-duskin/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-duskin/</a>   | 健康で快適な生活空間の実現につながるあらゆる研究<br><br>ダスキン開発研究所の技術領域である「清掃」「衛生」「快適」にかかわらず、幅広い分野の研究を募集。  | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br><br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能   | 研究費50万   | 記載なし  |
| 6月10日 | 2020年7月31日<br>24時締切                    | Web申請               | 【リバネス研究費】<br><br>第49回リバネス研究費<br><br>ニッポン 食のイノベーション賞                                       | リバネス研究費<br><br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-nippon/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-nippon/</a>   | “食”に関して新たな価値を生み出すあらゆる研究<br><br>・原材料に関する研究(育種、栽培、食品素材、薬用植物など)<br>・食と健康・栄養に関する研究(健康機能性食品、嚥下食品など)<br>・食品加工技術に関する研究(抽出、造粒、乳化、乾燥、安定化、低コスト化など)<br>・保存・流通に関する研究(冷凍技術、包装など)<br>・おいしさに関する研究(おいしさの見える化、味覚等五感の研究など)  | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br><br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能   | 研究費50万   | 記載なし  |
| 6月10日 | 2020年7月31日<br>24時締切                    | Web申請               | 【リバネス研究費】<br><br>第49回リバネス研究費<br><br>フォーカスシステムズ賞   | リバネス研究費<br><br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-focus-s/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-focus-s/</a>   | アフターコロナ時代のスマート社会の実現に向けたあらゆる研究<br><br>ロボティクス、モビリティ、IoT、人工知能、交通、医療、介護、ヘルスケア、バイオ、ものづくり、農業、海洋開発、食品、防災、環境、エネルギー、資源   | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br><br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能   | 研究費50万及びシステム化に向けてのアドバイス                                | 記載なし  |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切ではありません)        | 申請形態  | 助成名  | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業  | 応募資格   | 助成額  | 研究期間   |
|-------|--------------------------------|-------|--|--|---|--|--|--|
| 6月10日 | 2020年8月31日<br>24時締切            | Web申請 | 【リバネス研究費】<br>第49回リバネス研究費<br>吉野家賞                         | リバネス研究費<br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-yoshinoya/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-yoshinoya/</a>   | テクノロジーを活用して飲食業をアップデートするあらゆる研究<br>ロボティクス、データサイエンス、情報通信、XR、コミュニケーション、薬学、医学、材料工学、電子工学、人間行動学、心理学、経済学、建築学、デザイン、ものづくり、など分野を問わず幅広い科学・技術分野の研究を募集。   | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能   | 研究費50万円<br>+店舗等を研究・実証試験フィールドとして提供  | 記載なし   |
| 6月10日 | 2020年7月31日<br>24時締切            | Web申請 | 【リバネス研究費】<br>第49回リバネス研究費<br>日本の研究.com賞                   | リバネス研究費<br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-research-er/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-research-er/</a>   | 研究と社会を繋ぎ、研究成果の社会実装促進・情報発信の活性化に向けたあらゆる研究   | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能<br>(URAや産学連携コーディネーターなどの研究と社会をブリッジするポジションにある方からの応募歓迎)  | 研究費50万   | 記載なし   |
| 6月10日 | 2020年7月31日<br>24時締切            | Web申請 | 【リバネス研究費】<br>第49回リバネス研究費<br>Delightex賞                   | リバネス研究費<br><a href="https://r.ine.st/2020/06/01/49th-delightex/">https://r.ine.st/2020/06/01/49th-delightex/</a>   | 世界各国のこれまでの習慣や、それが人に与えてきた影響に関する研究全般<br>以下のことに関連する習慣を含む<br>・特定の地域や国の中で伝統的に行われている習慣、または儀式<br>・天然物(植物・動物・微生物)を利用する習慣<br>・習慣がその主催者・参加者にもたらす精神的な変化に関わる研究  | 大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者<br>・海外に留学中の方でも申請可能<br>・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能   | 研究費50万   | 記載なし   |
| 6月10日 | 2020年7月6日～<br>9月7日まで           | Web申請 | 第一三共株式会社<br>医歯薬理工系研究者<br>向け共同研究公募プログラム<br>「TaNeDS(タネデス)」 | 第一三共株式会社<br><a href="https://www.daiichisankyo.co.jp/corporate/rd/taneds/index.html">https://www.daiichisankyo.co.jp/corporate/rd/taneds/index.html</a><br>※問い合わせ等はHP内お問い合わせより   | [A.創薬テクノロジー研究]<br>A1.新規創薬技術<br>A2.蛋白質の解析研究<br>A3.ターゲティング技術・DDS技術<br>A4.細胞治療に関する研究<br>A5.機械学習、AI研究<br>A6.安全性予測研究<br>A7.抗体取得技術<br>A8.ライブラリー構築に関する研究<br>A9.製薬技術<br>[B.創薬ターゲットの探索・検証研究]<br>B1.オンコロジー<br>B2.神経変性疾患、精神疾患<br>B3.希少疾患、免疫、遺伝性難聴<br>[C.第一三共のモダリティ活用研究]<br>C1.第一三共のモダリティ技術を活用した治療薬創製研究<br>C2.特定のモダリティ技術を活かした創薬研究 | ・日本国内の研究機関などに所属する研究者で、応募内容の研究を日本国内で遂行可能な方<br>・学位取得のための外部発表が優先される大学院生などによる応募は不可<br>・第一三共株式会社、及び第一三共RDノバール株式会社とのニーズとのマッチング、研究の独創性、将来性、医薬品化の可能性、および社内プロジェクトとの重複などを選考基準とする。  | 総額として1000万円まで(間接経費込、税抜)  | 契約締結日から2022年3月末日<br>※研究計画によって、契約締結日から2年間               |
| 6月10日 | 2020年8月3日<br>～8月21日17時<br>到着まで | 郵送    | 公益財団法人中島記念国際交流財団<br>①日本人海外留学奨学生<br>②日本人若手研究者研究助成         | 公益財団法人 中島記念国際交流財団<br>〒106-6120<br>東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー20階<br>私書箱179号<br>Tel : 03-5770-8210<br>Fax : 03-5770-8211<br><a href="http://www.nakaijimafound.or.jp/ko-ubo.htm">http://www.nakaijimafound.or.jp/ko-ubo.htm</a> | ①海外の大学院に留学する日本人(学生)に対する奨学援助を通じて、今後の世界にとり必要性の高い分野において人材の育成を図る。<br>【対象分野】<br>(1) 情報科学 (2) 生命科学 (3) 経営科学<br>②優れた日本人若手研究者に対して研究助成を行い、学術の振興に寄与することを目的とする。<br>【対象分野】<br>対象分野は、次に掲げる研究分野とし、原則として一人で行う研究であって、将来の発展が期待できる研究を対象とする。<br>(1) 情報科学(2) 生命科学   | ①日本に在住する令和3年4月1日現在30歳以下の者で、令和3年度中(2021年4月1日から2022年3月31日までに入学)に留学開始し、かつ、次のいずれにも該当する者。<br>(1) 海外の大学(又はこれに準ずる機関)の修士号又は博士号を取得するために留学する者<br>(2) 学業、人物ともに優秀であって、健康である者<br>(3) 外国語能力について、留学先での教育研究に支障のない者<br>(4) 国際理解及び我が国と諸外国との友好、親善に寄与できる者<br>②我が国の大学・研究機関等に所属する若手研究者のうち、主として日本学術振興会の特別研究員経験者とする。なお、若手研究者とは、令和3年4月1日現在37歳以下の研究者とする。<br>注1) 日本学術振興会の特別研究員経験者でなくても、応募は可能。<br>注2) 令和3年4月以降、引き続き又は新たに大学院生である者は応募できない。<br>注3) 日本に永住を許可されている外国人は、応募可能。(在留カードもしくは特別永住者証明書のコピーを1部提出要) | ①奨学金給付額<br>(1) 奨学金月額20万円<br>(2) 支度金50万円(往路渡航費含む)<br>(3) 復路航空賃留学終了後の帰国時1回分<br>(4) 授業料 留学当初の2年間に限り、年間300万円以内。(ただし、実際に負担する場合のみ。)<br>②500万以内/件 | ①修士号取得希望者については、最長2年内、博士号取得希望者については、最長5年内。<br>②基本的には年度内 |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切<br>ではありません)              | 申請形態  | 助成名  | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)  | 対象事業  | 応募資格   | 助成額                             | 研究期間   |
|-------|--|-------|--|---|---|--|---------------------------------|--|
| 6月10日 | ①②④<br>2020年7月22日まで<br>③<br>2020年9月24日まで | 郵送    | 令和3年度科学技術<br>分野の文部科学大臣<br>表彰受賞候補者の推薦<br><br>①科学技術賞<br>②若手科学者賞<br>③創意工夫功労者賞<br>④研究支援賞 | 文部科学省研究振興局<br>〒100-8959<br>東京都千代田区霞が関3-2-2<br>文部科学省研究振興局振興企画<br>課奨励室<br>担当:田村・結城・河野<br>電話番号:03-5253-4111(内線<br>4231, 4233, 4071)、<br>03-6734-4071(直通)<br>E-mail: sinsvore@mext.go.jp<br><br><a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1417596_00004.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1417596_00004.htm</a> | ①科学技術賞<br>1)開発部門<br>2)研究部門<br>3)科学技術振興部門<br>4)技術部門<br>5)理解増進部門<br><br>②若手科学者賞<br>③創意工夫功労者賞<br>④研究支援賞  | ①科学技術賞<br>1)我が国の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与する画期的な研究開発若しくは発明であって、現に活用されているものを行った個人若しくはグループ又はこれらの者を育成した個人<br>2)我が国の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は発明を行った個人又はグループ<br>3)研究開発の社会的必要性に関する研究等の分野において、科学技術の振興に寄与する活動を行い、顕著な功績があったと認められる個人又はグループ<br>4)中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した個人若しくはグループ又はこれらの者を育成した個人<br>5)青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った個人又はグループ<br><br>②萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満の若手研究者個人<br>③優れた創意工夫によって職域における科学技術の進歩又は改良に寄与した個人又はグループ<br>④科学技術の発展や研究開発の成果創出に向けて、高度で専門的な技術的貢献を通じて研究開発の推進に寄与する活動を行い、顕著な功績があったと認められる個人又はグループ | -                               | -  |
| 6月10日 | 2020年7月30日<br>17時まで                      | Web申請 | 武田薬品工業株式会社<br><br>研究公募COCKPI-T<br>Funding 2020                                       | 武田薬品工業株式会社<br>COCKPI-T_Funding事務局<br>E-mail: COCKPI-T@takeda.com<br><br><a href="https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/open-innovation/cockpi-t/">https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/open-innovation/cockpi-t/</a>   | 研究課題<br>・ニューロサイエンス事業<br>・免疫及び希少疾患研究<br>・プラットフォーム技術研究(評価系・分析技術)<br>・プラットフォーム技術研究(薬物・製剤技術)<br>・薬物動態・安全性研究   | 日本国内の大学、公的な研究機関、企業等に所属する研究者<br>※所属大学・機関・企業等との契約を予定。  | 500万程度/件                        | 締結日～2022年3月末日  |
| 5月27日 | 2020年7月31日まで                             | Web申請 | EAファーマ株式会社<br>創薬研究パートナー募集  | EAファーマ株式会社<br>探索統括部 外部連携チーム<br>〒210-8681<br>神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1<br>担当 坂<br>(個別相談がある方は坂様へ直接相談可)<br>email:<br>faq skpartner ea@eapharma.co.jp<br><br>TEL: 044-210-5824<br>FAX: 044-210-5875<br><br><a href="https://www.eapharma.co.jp/openinnovation/">https://www.eapharma.co.jp/openinnovation/</a><br>※問い合わせはHP内問い合わせからも可            | 1. 創薬候補および創薬標的候補プロジェクト<br>⇒炎症性腸疾患 (IBD)、非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)、膵炎、過敏性腸症候群 (IBS)、NSAID起因性小腸粘膜傷害、他疾患の治療による消化管副作用、およびがんを除く治療満足度が満たされていない消化器系疾患に対して治療効果が期待される創薬候補、創薬標的候補<br><br>2. 疾患基礎技術プロジェクト<br>⇒非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)、膵炎、過敏性腸症候群 (IBS)、NSAID起因性小腸粘膜傷害に対する、DDS技術・動物モデル・測定技術・バイオマーカー・評価技術・医療機器 | 応募対象者 日本国内の大学、公的な研究機関等に所属する研究者で、応募内容の研究を日本国内で実施可能な方  | 目安: 案件により<br>100～1,000万         | 記載なし   |
| 5月27日 | 2020年6月1日<br>～8月7日まで                     | Web申請 | 一般財団法人ヤンマー資源循環支援機構<br><br>2020年度助成事業<br>①研究助成<br>②事業助成                               | 一般財団法人ヤンマー資源循環支援機構<br><br>〒530-0014 大阪市北区鶴野町1番9号<br>梅田ゲートタワー(総合受付17階)<br>電話:06-7636-2983<br>FAX:06-7636-0056<br>E-mail: shigenjunkan@yanmar.com<br><br><a href="http://www.yanmar.com/jp/shigenjunkan">http://www.yanmar.com/jp/shigenjunkan</a>  | 「資源循環型の持続可能な農林水産業の取組み」、「農林水産資源の活用」の2つが助成対象。<br>その中で特に以下に記載する課題の解決を目標とし、資源循環型社会の実現に資する基礎研究、技術開発、実証等に対して支援するもの。<br>・持続可能で、かつ環境負荷を最小限にする農業、林業、水産業の実現に寄与する。<br>・枯渇する天然資源の使用を最小限にする。<br>・農林水産業において排出される廃棄物の削減や、例えば再生可能エネルギーへの変換のように再利用を可能にする。<br>・自然環境を永続的に豊かにする。                            | 1. 大学、研究機関、教育機関等において研究活動に従事されている方。<br>2. 大学院博士課程(後期)に在籍される方。<br>3. 年齢制限なし。<br>4. 国籍は問わない。<br>5. 営利企業等およびその関係者は対象外。<br>※女性研究者からの申請も歓迎。<br>※①②の重複応募は不可   | ①②どちらも<br>一般…上限150万<br>学生…上限50万 | ①一般のみ<br>2021年4月より1年間または2年間<br><br>①学生及び②については2021年4月より1年間 |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切<br>ではありません) | 申請形態      | 助成名   | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業  | 応募資格  | 助成額   | 研究期間   |
|-------|-----------------------------|-----------|---|--|---|---|---|--|
| 5月13日 | 2020年7月31日まで<br>(当日消印有効)    | 郵送        | 公益財団法人東洋食品研究所<br>2020年度研究助成                                       | 公益財団法人東洋食品研究所<br>〒666-0026<br>兵庫県川西市南花屋敷4丁目23番2号<br>公益財団法人東洋食品研究所<br>事業推進部 研究助成・文化財事業課<br>TEL:072-740-3500(事業推進部直通)<br>FAX:072-758-6934<br><a href="https://www.shokuken.or.jp/subsidedize/">https://www.shokuken.or.jp/subsidedize/</a>         | 食品素材やその製造又は加工、保存技術に関する研究ならびに食品と健康、安全性に関する研究を基本とし、独創性、先行性があり、その研究の成果が広く学術研究等に資することが期待できる研究内容かつ、下記のいずれかの分野に属するもの。<br>A分類<br>食品資源、食品科学、食品加工に関する研究<br>①食品資源に関する分野：農産原料栽培、育種等に関する研究<br>②食品科学に関する分野：安全・衛生、機能・栄養、食品物性、食品のおいしさ(食感・味)等に関する研究<br>③食品加工に関する分野：製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通等に関する研究<br>B分類：当法人設定テーマに関する研究<br>①食品原料の有効活用(未利用資源利用、フードロス解消など)<br>②地域の産業振興を目的とした食品の研究  | ・大学・研究機関に所属し、先駆的・独創的研究に従事する若手研究者(45歳以下)で、助成申請に当たり所属機関の推薦が得られること。<br>・申請課題については、国その他の機関から助成を重複して受けていないことを原則とする。他の機関等からの助成を受けている場合には、申請時に申告が必要。   | 100万円/件   | 原則当年度<br>(2021年4月1日<br>～2022年3月31日)                  |
| 5月13日 | 2020年7月31日<br>17時まで         | Web申請     | 大日本住友製薬株式会社<br>共同研究公募プログラム「PRISM」<br>研究ニーズ提示型                     | 大日本住友製薬株式会社<br>〒104-8356<br>東京都中央区京橋1-13-1<br>オフィスインノベーション推進部<br>松本 弥生様<br>TEL:080-4069-2204<br>mail: yayoi-matsumoto@ds-pharma.co.jp<br><a href="https://www.ds-pharma.co.jp/prism/needs.html">https://www.ds-pharma.co.jp/prism/needs.html</a> | ①皮質/辺縁系の神経機能異常による精神疾患モデル動物の構築<br>②ヒト予測妥当性の高いげっ歯類オキサリプラチン(OXA)誘発末梢神経障害モデルの構築とバイオマーカー探索<br>③げっ歯類におけるモチベーション(意欲・活力)を評価する新規試験系の構築<br>④膜タンパク質に対してスクリーニング可能な化学修飾を施した新規DNA-Encoded Libraries (DELs) の開発<br>⑤中枢由来エクソソームに特異的な表面抗原などを利用し、ライセートや血液からエクソソームを単離する技術<br>⑥透過型電子顕微鏡等を利用し、微結晶や粉末状態の低分子有機化合物の絶対立体構造や立体配座を解析する技術<br>⑦精神疾患や神経疾患の精神症状をモニターできるデジタルバイオマーカーの開発<br>⑧非侵襲または低侵襲でニューロモジュレーションまたはバイオフィードバックなどを用いて生理現象を制御する技術 | 日本国内の大学や研究機関、企業などに所属する研究者で、応募内容の研究(共同研究・委託研究)を日本国内で遂行可能な方。  | ①齧歯類のみ: 500万<br>非ヒト霊長類: 750万<br>②500万<br>③500万<br>④500万<br>⑤1,000万<br>⑥1,000万<br>⑦750万<br>⑧1,000万 | ①2年<br>②1年<br>③2年<br>④1年<br>⑤1年<br>⑥1年<br>⑦2年<br>⑧2年 |
| 4月30日 | 2020年9月4日                   | 郵送及びWeb申請 | 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所<br>2021年度<br>①共同研究者派遣<br>②グループ共同研究     | 〒444-8585<br>愛知県岡崎市明大寺町西郷中38番地<br>自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課国際係<br>TEL: 0564-55-7137<br>FAX: 0564-55-7119<br>E-mail: japan-us-brcp@orion.ac.jp<br><a href="https://www.nips.ac.jp/iusnou/">https://www.nips.ac.jp/iusnou/</a>                  | 脳一般に関する研究(以下に分野を示す)<br>1) 細胞・分子<br>2) 発達・可塑性・修復<br>3) 行動・システム・認知<br>4) 疾病の神経生物学   | ①国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する若手研究者(文部科学省科学研究費助成事業の応募資格があり、2020年9月4日現在、博士の学位取得後10年以内の者)(2010年9月5日以降に学位を取得した者)又は、日本国内の大学院博士後期課程に在籍する者<br>②国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する者(科学研究費助成事業の応募資格のある者)分担社については学生も可 | ①交通費。日当・宿泊料<br>②日本側グループの代表者及び分担社が米国で上限120万程度/年間   | ①派遣期間: 原則11ヶ月<br>②2021年度から2～3年間                      |
| 4月30日 | 2020年9月4日                   | 郵送及びWeb申請 | 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所<br>2021年度<br>③情報交換セミナー<br>④トレーニングコース派遣 | 〒444-8585<br>愛知県岡崎市明大寺町西郷中38番地<br>自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課国際係<br>TEL: 0564-55-7137<br>FAX: 0564-55-7119<br>E-mail: japan-us-brcp@orion.ac.jp<br><a href="https://www.nips.ac.jp/iusnou/">https://www.nips.ac.jp/iusnou/</a>                  | 脳一般に関する研究(以下に分野を示す)<br>1) 細胞・分子<br>2) 発達・可塑性・修復<br>3) 行動・システム・認知<br>4) 疾病の神経生物学   | ③国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する者(科学研究費助成事業の応募資格のある者)<br>④日本国内の大学院博士後期課程に在籍する者  | 交通費。日当・宿泊料  | 記載なし   |
| 4月30日 | 2020年7月16日<br>～9月30日必着      | 郵送        | 一般社団法人日本競走馬協会<br>2020年度競走馬生産育成研究助成事業                              | 一般財団法人日本競走馬協会<br>〒106-0041<br>東京都港区麻布台2-2-1麻布ビル<br>(担当:高宮)<br>TEL:03-3505-3445<br>FAX:03-3505-3455<br><a href="https://www.irha.or.jp/">https://www.irha.or.jp/</a>  | (1)競走馬に関する研究<br>①競走馬の生産、育成、調教に関する研究<br>②競走馬の流通に関する研究<br>(2)競走馬に関する研究成果情報の収集<br>競走馬に関する国内外の研究成果情報の収集<br>※「競走馬」は「競走馬向けの軽種馬(種牝馬、繁殖牝馬を含む)」とする。  | 左記の対象事業について研究等を行う日本国内の大学  | (1)上限年間300万<br>(2)上限年間100万<br>※どちらも1件あたり  | 1年間<br>(2021年1月1日<br>～12月31日)                        |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日 | 募集期間<br>(注:学内締切ではありません)       | 申請形態       | 助成名   | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業   | 応募資格   | 助成額                     | 研究期間                              |
|-------|-------------------------------|------------|---|--|--|--|-------------------------|-----------------------------------|
| 4月15日 | 2020年9月20日<br>必着              | 郵送およびWeb申請 | 公益財団法人 井上科学振興財団<br>第37回(2020年度)井上研究奨励賞受賞候補者 | 公益財団法人 井上科学振興財団<br>〒150-0036 東京都渋谷区南平台<br>町15-15 南平台今井ビル601<br>電話 :03-3477-2738<br>FAX :03-3477-2747<br>E-mail :inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp<br><a href="http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-02.html">http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-02.html</a> | 2017年4月1日～2020年3月31日(2017年度～2019年度)の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基礎的研究において、新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出し、博士の学位を取得した研究者。   | 理学、医学、薬学、工学、農学等の分野で過去3年の間に博士の学位を取得した37歳未満の研究者。   | 本賞：賞状及び銅メダル<br>副賞：50万円  | -                                 |
| 4月15日 | 2020年9月24日<br>電子申請完了及び原本必着    | Web申請及び郵送  | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>④内藤記念次世代育成支援研究助成金      | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 何江堂ビル8階<br>TEL:03-3813-3861<br>FAX:03-3811-2917<br>E-mail:ioseikin@naitio-f.or.jp<br><a href="https://www.naitio-f.or.jp/">https://www.naitio-f.or.jp/</a>                                     | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に対し、次世代の研究者育成に資するため、将来有望な研究者に研究費の一部を継続的に補助する。   | 1)人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる研究者で、かつ申請締切日時点で博士号取得11年未満の研究者であること。<br>2)申請者が所属する研究統括責任者(申請者本人が研究統括責任者の場合を含む)が、昨年度1年間に得た公開情報のある公的・民間からの競争的資金総額が3,000万円(ただし間接経費を除く)を超えないこと。<br>3)日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない)。<br>4)当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。<br>5)海外で行う研究は対象外とする。<br>6)申請時および助成期間中に、内藤記念科学奨励金・研究助成、内藤記念科学奨励金・若手ステップアップ研究助成、内藤記念女性研究者研究助成金、内藤記念海外研究留学助成金、いずれも申請する事はできない。  | 総額600万(200万/年間を3年間)     | 3年間                               |
| 4月15日 | 2020年9月24日<br>電子申請完了及び原本必着    | Web申請及び郵送  | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>⑤内藤記念海外研究留学助成金         | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 何江堂ビル8階<br>TEL:03-3813-3861<br>FAX:03-3811-2917<br>E-mail:ioseikin@naitio-f.or.jp<br><a href="https://www.naitio-f.or.jp/">https://www.naitio-f.or.jp/</a>                                     | 我が国の自然科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とし、人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行うために、若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する際の渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助する。 | 1)博士号を持つか、出発日までに取得見込みの研究者で、日本の研究機関に所属する者。<br>(出発日までに博士号取得見込みの大学院生は対象とする)。<br>2)学生として海外の大学・大学院への留学は対象外とする。<br>3)申請締切日時点で、博士号を取得して8年未満であり、かつ1980年4月1日以降に出生の者。<br>4)留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている者。<br>受入先承諾書(レターヘッド付き書面にて受入先責任者サインがあるもの)を添付すること。<br>5)2021年4月1日～2022年3月31日の間に日本国内より出発し、1年以上留学する者。<br>留学先から一時帰国し、再度上記の期間に出発する者は対象にならない。<br>6)営利団体や企業の研究機関に所属している研究者、営利目的の民間研究所等への留学は対象外とする。<br>7)留学に際し、他機関から総額200万円以上の留学助成金あるいはフェロシップを受領する者は重複して受領することはできない。但し留学受入先にて支給を受ける給与、奨学金や、研究費は重複の対象に含まない。<br>※本助成金は、当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請する事ができる。 | 450万                    | 留学中であれば使用期間に制限なし<br>報告期限は帰国後1ヶ月以内 |
| 4月15日 | 後期:2020年9月24日<br>電子申請完了及び原本必着 | Web申請及び郵送  | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>⑥内藤記念海外学者招聘助成金         | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 何江堂ビル8階<br>TEL:03-3813-3861<br>FAX:03-3811-2917<br>E-mail:ioseikin@naitio-f.or.jp<br><a href="https://www.naitio-f.or.jp/">https://www.naitio-f.or.jp/</a>                                     | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招聘する際の費用を補助する。  | 1)人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を学術集会(日本国内で開催される定例的総会や年会)に招聘する際の当該学術集会組織委員長であること。<br>ただし、当財団の理事・監事・評議員・選考委員は申請できない。<br>2)同年度の同一学術集会に招聘する場合の申請は1件とする。<br>3)招聘時期が下記の期間内であること。<br>●前期:2021年1月1日～2021年6月30日<br>●後期:2021年7月1日～2021年12月31日<br>4)当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。  | 20～80万/件<br>(エリアにより異なる) | 報告期限:学会終了後1ヶ月以内                   |

# 2020/7 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

| HP掲載日  | 募集期間<br>(注:学内締切ではありません)   | 申請形態                 | 助成名   | 実施機関<br>(URL・問い合わせ先)   | 対象事業   | 応募資格   | 助成額  | 研究期間   |
|--------|---|----------------------|---|--|--|--|--|--|
| 4月15日  | 秋期(2020年7月～9月分)<br>:2020年5月21日～8月20日<br>電子申請完了及び原本必着  | Web申請及び郵送            | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>⑦内藤記念講演助成金   | 公益財団法人 内藤記念科学振興財団<br>〒113-0033<br>東京都文京区本郷3-42-6<br>何江堂ビル8階<br>TEL:03-3813-3861<br>FAX:03-3811-2917<br>E-mail:ioseikin@naitio-f.or.jp<br>https://www.naitio-f.or.jp/                 | 自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助する   | 大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者(主催者)。<br>国際会議とは、参加者総数が50名以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上を占める会議をいう。<br>①国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会<br>②当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会<br>当財団の理事・監事・評議員および選考委員による申請は原則行わない。<br>ただし、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。  | 50万円/件   | 報告期限:学会終了後1ヶ月以内  |
| 3月17日  | 2020年4月1日(水)～2020年8月31日(月)必着  | 郵送                   | 公益社団法人日本愛玩動物協会<br>家庭動物の適正飼養管理に関する調査研究助成   | 公益社団法人日本愛玩動物協会<br>〒160-0016 東京都新宿区信濃町8-1<br>tel.03-3355-7855<br>(祝祭日を除く平日 9時30分～17時30分)<br>fax.03-3355-7880<br>https://www.jpc.or.jp/investigation/                                  | 家庭動物(犬、猫、小鳥、小動物などで広く一般的に飼われているもの)の適正飼養管理に関する調査または研究に限る。<br>※家庭動物の適正飼養管理に、直接的・将来的に結びつくものであることが助成の条件となる。※営利目的、他の機関からの委託研究や研究助成の重複、実質的に完了している研究は除く。<br>調査研究分野<br>(1)動物の健康と安全、習性、生理生態<br>(2)マナー、しつけ<br>(3)公衆衛生(迷惑防止を含む)<br>(4)所有者明示(5)繁殖、繁殖制限<br>(6)動物観、歴史<br>(7)法令<br>(8)その他<br>※単年度で成果報告ができる調査研究を対象とする。  | 資格、所属、年齢等の制限はなし。<br>上記調査研究分野で調査研究歴を有する者とします。申請書に下記事項を記載すること。<br>・最終学歴<br>・関連する研究歴<br>・既発表論文(掲載誌名、論文名)<br>・共同研究者名<br>・所属学会名等  | 総額約400万円(1)1件100万円以下案件、(2)1件30～50万円程度案件  | 1年間(2021年4月～2022年3月)   |
| 3月17日  | ①②③2020年7月1日9時～7月31日12時<br>④2020年6月1日9時～7月31日12時<br>⑤郵送にて2020年3月23日9時～4月21日12時必着  | ①②③④ Web申請<br>⑤メール送信 | 公益財団法人発酵研究所<br>①2021年度一般研究助成・大型研究助成<br>②2021年度若手研究者助成<br>③2021年度学会・研究部会助成<br>④2021年度寄付講座助成<br>⑤2020年度研究者招聘・留学助成 | 公益財団法人発酵研究所事務局<br>〒532-8686 大阪市淀川区十三本町2丁目17番85号<br>TEL:06-6300-6555<br>FAX:06-6300-6814<br>e-mail:iimukvoku@ifo.or.jp<br>http://www.ifo.or.jp/research/info.html                     | ①【研究課題】<br>・微生物の分類に関する研究<br>分離、分類、保存<br>・微生物の基礎研究<br>生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など<br>発酵、生理活性物質、プロバイオティクス、環境保全、バイオエネルギーなど<br>②【研究課題】<br>・微生物の分類に関する研究<br>分離、分類、保存<br>・微生物の基礎研究<br>生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など<br>③【研究課題】<br>・微生物の分類に関する研究<br>分離、分類、保存<br>④【研究課題】<br>・微生物の基礎研究<br>生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など<br>⑤【研究課題】<br>・微生物の分類に関する研究<br>分離、分類、保存<br>・微生物の基礎研究<br>生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など | ①【一般】<br>・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人<br>・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間500万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。<br>【大型】<br>・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人<br>・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間1,000万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。<br>②・助成開始時に日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行う個人<br>・2021年4月1日現在、満35才以下の者<br>・助成期間内に、他からの助成金・研究費を受けることを可とする。<br>③微生物の分類に関する研究を推進するための研究会等を設置し活動を行う団体<br>申請は学会単位とする。<br>申請内容を説明できる代表者が申請者となる。<br>④日本の国立大学、公立大学、私立大学のいずれかに属する部局(研究科、学部または研究所)<br>⑤【対象1】微生物に関する研究を行う目的で来日する外国人研究者<br>【対象2】微生物に関する学会での発表を目的として来日する外国人研究者<br>【対象3】微生物に関する研究を行う目的で外国へ留学する日本人研究者<br>いずれも2020年7月～2021年2月までの間に開始する者とする。 | ①【一般】<br>300万円(一括払い)<br>【大型】<br>1,000万円(一括払い)<br>②300万円(一括払い)研究費および生活費として支給する。<br>※申請者の所属機関の間接経費、一般管理費(オーバーヘッド)は、助成の対象としない。<br>③500万円(一括払い)<br>④2億円(一括払い)原則として間接経費は認めない。<br>⑤【対象1】最高25万円/月<br>【対象2】1名あたり20万円を限度<br>【対象3】対象1に同じ渡航費は、別途、支給しない。他から助成金を受けることも可とする。 | ①②③<br>2021年4月～2023年3月(2年)<br>④2021年10月～2027年3月(5.5年)<br>⑤【対象1】1年以上<br>【対象2】記載なし |
| 10月28日 | (1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、2020年4月1日から10月末日まで申請を随時受け付けますが、審査期間として概ね1ヵ月程度を要しますので、ご了承願います。 | Web申請                | 大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所<br>2020年度基礎生物学研究所共同利用研究の公募   | 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター総務部 国際研究協力課 共同利用係<br>〒444-8585<br>岡崎市明大寺町字西郷中38<br>電話:(0564)55-7133(ダイヤルイン)<br>E-mail:r7133@orion.ac.jp<br>http://www.nibb.ac.jp/collabo/invi/2020.html | (1)重点共同利用研究 ※1<br>(2)モデル生物・技術開発共同利用研究 ※1<br>(3)個別共同利用研究<br>(4)統合ゲノミクス共同利用研究<br>(5)統合イメージング共同利用研究<br>(6)大型スペクトログラフ共同利用実験<br>(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究 ※1<br>(8)研究会<br>(9)トレーニングコース<br>※1受付期間について<br>(1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、2020年4月1日から10月末日まで申請を随時受け付けますが、審査期間として概ね1ヵ月程度を要しますので、ご了承願います。                                     | (1)大学及び公的研究機関に所属する常勤の研究者<br>(2)大学及び公的研究機関に所属する非常勤の研究者のうち、以下の①、②のいずれかに該当する者。<br>①e-Radに「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者。<br>②研究活動を行うことを職務として大学又は公的研究機関に所属し、実際に研究活動に従事している研究者(大学院生は除く)。<br>(3)基礎生物学研究所長が十分な研究能力を有すると認めた者<br>また、分担者として、(1)から(3)に該当する研究者に加えて、大学院生、学部学生、技術職員等も参加することが可能。   | 対象事業によって異なるため、公募要項にて確認ください。  | 対象事業によって異なるため、公募要項にて確認ください。  |